

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
28-72	高等学校	芸術科	書道Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
2 東書	書Ⅱ305	書道Ⅱ		

1. 編修の基本方針

- 1 生徒の興味・関心に応じて、個性豊かな表現と鑑賞の力をバランスよく育む。
- 2 書への理解を深める豊富な学習要素で、学習の流れが明確な紙面を構成する。
- 3 書道Ⅰの学習を踏まえ、系統的に発展させた内容構成とする。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
漢字仮名交じりの書 1 1 漢字の古典を生かした表現 2 仮名の古典を生かした表現 3 漢字と仮名の古典を生かした表現	<ul style="list-style-type: none"> ・生き方や愛をテーマにした詩文を題材にした書を取り上げることで、豊かな情操と道徳心を培うよう配慮しました。(第1号) ・漢字や仮名の古典を鑑賞して特徴を捉え、それらに調和させて仮名や漢字を書くことで、伝統文化を尊重する態度を養うよう配慮しました。(第5号) 	2～12 ページ 2～12 ページ
漢字の書 1 楷書 2 行書 3 草書 4 隷書 5 篆書 創作の手順 創作参考作品	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書に関する知識が幅広く正確に身につくように、さまざまな種類の漢字の古典を掲載し、それぞれに「字形と筆順」「人物」などの学習材を豊富に用意しました。(第1号) ・創作活動において多様な表現を例示することで、生徒の個性を尊重し、創造性を培うよう配慮しました。(第2号) ・創作作品の例示として「雲」を題材に、さまざまな書表現を試みることで、自分の中のイメージや知識を再確認し、自然への思いを深めるきっかけとなるよう配慮しました。(第4号) ・漢字五書体を学ぶことで漢字の歴史の変遷に理解を深め、他国の文化を尊重する態度を養うよう配慮しました。(第5号) 	14～49 ページ 52～55 ページ 50～51 ページ 14～49 ページ
篆刻と刻字 1 篆刻 創作の手順 創作参考作品 2 刻字 創作の手順 創作参考作品	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻や刻字において創作の手順を示し、創作を促すことで、生徒の創造性を伸ばすよう配慮しました。(第2号) ・蔵書印や住所印など生活の中で使われる印を取り上げることで、書を通して社会に参画することの意義を考えられるよう配慮しました。(第3号) ・篆刻の歴史について知ることで、中国と日本の文化の関わりについて理解を深め、双方の伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮しました。(第5号) 	58～63 ページ 56～57 ページ 56～57 ページ

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
仮名の書 1 仮名の美の展開 2 連綿 3 仮名一覧表 4 行書き・散らし書き 創作の手順 創作参考作品	<ul style="list-style-type: none"> 『古今和歌集』のさまざまな写本に展開される書写形式の多様さを知ること、幅広く教養を身につけられるよう配慮しました。(第1号) 自分の選んだ詩歌や文言を題材に、古典に基づいて作品を創作する活動を取り入れることで、生徒の個性を尊重し、創造性を培うよう配慮しました。(第2号) 仮名の名筆から集字した平仮名や変体仮名を一覧することで、独自の文字を生み出した我が国の文化を尊重する態度を養うよう配慮しました。(第5号) 	66～67 ページ 82～84 ページ 76～77 ページ
漢字仮名交じりの書② 1 名筆・古典に学ぶ漢字と仮名の調和 2 仮名に学ぶ漢字と仮名の調和 3 隷書に学ぶ漢字と仮名の調和 創作の手順 創作参考作品	<ul style="list-style-type: none"> 自分の選んだ歌詞を題材に、古典に基づいて作品を創作する活動を取り入れることで、生徒の個性を尊重し、創造性を培うよう配慮しました。(第2号) 表現例の参考作品において「ありがとう」という言葉や人の絆を歌った歌詞などを題材にすることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うよう配慮しました。(第3号) 創作及び創作参考作品において、海や桜を題材にしたものを取り上げて、書を通して自然や環境について考える学習ができるよう配慮しました。(第4号) 表現例の参考作品として日本のさまざまな時代の書を取り上げることで、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮しました。(第5号) 	92～95 ページ 90～91 ページ 92～95 ページ 86～89 ページ
資料 書の変遷 書道用語 200 書道史略年表 書道史地図	<ul style="list-style-type: none"> 書道史や書道用語について分かりやすく整理した資料を掲載することで、幅広い知識を身につけられるように配慮しました。(第1号) 「書道史略年表」と「書道史地図」によって、書を通して日本と中国が発展したり交流したりしてきたことを学べるよう配慮しました。(第5号) 	96 ページ～裏見返し② 109 ページ～裏見返し②

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 随所に創作を促す指示や教材を用意し、豊かな創造性を養い、個性を伸ばせるよう配慮しました。(学校教育法第51条1・3号) →50～51, 58～60, 62, 82～83, 92～93 ページなど
- 拓本の採り方や、掛け軸や屏風などに関するコラムを掲載し、書を鑑賞する際に役立つ一般的な教養を身につけられるよう配慮しました。(学校教育法第51条2号) →64, 100 ページ

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-72	高等学校	芸術科	書道Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
2 東書	書Ⅱ305	書道Ⅱ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本書は、表現と鑑賞の力をつける教材をバランスよく配置しながら、小・中学校国語科書写や高等学校芸術科書道Ⅰで学習したことを書道Ⅱの内容へと発展させていくことをねらいとしています。学習の補助となる資料を豊富に用意し、書道Ⅱの学習が円滑に行えるよう工夫しました。

(1) 漢字仮名交じりの書

①段階的に学べる二部構成

●第1部は、書道Ⅰで学習してきた漢字や仮名の古典に基づいて表現する学習で、書道Ⅰでの学びを生かしながら深めていく構成となっています。第2部は、中世から近現代までのさまざまな時代の書をもとにした表現を学習し、生徒の興味・関心に応じた内容を扱えるようにしました。

②主体的な学習を促し、多様な学習形態に対応

●各教材に、鑑賞・表現のポイントや「自己評価の要点」を設け、生徒が目標を明確にして主体的に学習できるように工夫しました。

●漢字仮名交じりの書に隷書（「張遷碑」）を取り上げて発展的な学習内容として設定し、さまざまな学習の形態に合わせて使えるようにしました。

③生徒の個性的な表現に対応した創作活動

●歌詞のイメージに合う古典の書風を選んで書くという活動を取り入れました。高校生になじみのある歌詞を題材にして、より個性を生かした表現となるよう工夫しました。

●個性豊かで多様な創作参考作品を用意し、生徒が自らの表現を生み出す際の手がかりになるようにしました。同じ文言をさまざまな表現で創作した例を示し、表現の幅広さを実感できるよう工夫しています。

(2) 漢字の書

①さまざまな種類の古典教材を豊富に掲載

●漢字五書体それぞれについて、多様な種類の古典を豊富に掲載するよう心がけました。特に、草書・隷書・篆書はそ

れぞれ導入ページを設け、丁寧に学習ができるようにしています。

②「学びやすさ」を重視した紙面構成

●教材の基本構成は、作品解説や釈文、大意のほか、「臨書・鑑賞の要点」、「字形と筆順」、「自己評価の要点」など、学習に役立つ要素を精選し、学習の流れが明確に伝わる配置として、学びやすさを重視しました。

●骨書きと筆順を記した「字形と筆順」は、筆路や筆順を理解するのに役立ちます。硬筆での学習へも展開できます。

●当該の古典がつくられた年代を、大きな時代の流れの中で視覚的に捉えられるよう、ページの下部に「時代スケール」を採り入れました。

③鮮明な写真を大きく配置

●各古典の写真は高精細で鮮明なものを用意しました。また、色味なども原典に近づけるよう調整しました。

④鑑賞活動の充実に向けて

●古典教材や創作参考作品の解説においては、的確かつ平易な語彙・表現を心がけ、生徒自身の鑑賞活動に生かせるようにしました。

(3) 仮名の書

①系統立てて学習できる構成

●書道 I での学習を踏まえて、仮名の書において特徴的な行書きや散らし書きの学習を充実させました。古典の臨書・鑑賞だけでなく、行書きや散らし書きで表現するための手順を丁寧に説明しています。

●書道 I と同様に、平仮名や変体仮名の一覧は、文字を古典から集字し、古典のもつ雰囲気味わえるようにしました。また、変体仮名においては、書道 I よりも多種の文字を示すことで、より実践的な学習ができるようにしました。

②「学びやすさ」を重視した紙面構成

●教材の基本構成は、作品解説や釈文、歌の意味のほか、「臨書・鑑賞の要点」、「硬筆で練習」、「自己評価の要点」など、学習に役立つ要素を精選し、学習の流れが明確に伝わる配置として、学びやすさを重視しました。

●当該の古典がつくられた年代を、大きな時代の流れの中で視覚的に捉えられるよう、ページの下部に「時代スケール」を採り入れました。

③鮮明な写真を大きく配置

●各古典の写真は高精細で鮮明なものを用意しました。また、色味なども原典に近づけるよう調整しました。

●多くを原寸大で配置することで、古筆のもつ味わいを忠実に再現しました。

④鑑賞活動の充実に向けて

●古典教材や創作参考作品の解説においては、的確かつ平易な語彙・表現を心がけ、生徒自身の鑑賞活動に生かせるようにしました。

(4) 篆刻・刻字

① 分かりやすく丁寧な創作の手順

- 用具・用材を示したり，手順を写真付きで解説したりすることで，一目で手順が理解できるように工夫しました。また，創作参考例を多く示し，創作の際の手がかりになるように配慮しています。

(5) その他

① 巻末に豊富な資料を用意

- 「書の変遷」では，豊富な写真とともに，中国と日本の書道史を概観する解説文を掲載しました。
- 「書道用語 200」として書道の学習における重要語句を 200 語挙げました。書道 I と共通しているので，つながりを意識した学習ができます。本編での学習の手がかりにしたり，書道用語をまとめて学習したりする際に活用できます。
- 「書道史略年表」を用意し，日本と中国の書の歴史を視覚的に概観できるよう配慮しました。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
口絵	書の美と個性	内容 B ア	口絵①②	
漢字仮名交じりの書①	1 漢字の古典を生かした表現	内容 A(1)ア, イ, ウ, エ B ア 内容の取扱い(2)(4)	2~7 ページ	
	2 仮名の古典を生かした表現	内容 A(1)ア, イ, ウ, エ B ア 内容の取扱い(2)(4)	8~11 ページ	
	3 漢字と仮名の古典を生かした表現	内容 A(1)ア, イ, ウ, エ B ア 内容の取扱い(2)(4)	12 ページ	
漢字の書	1 楷書	内容 A(2)ア, イ B ア, イ, ウ 内容の取扱い(1)(2)(4)	14~19 ページ	
	2 行書	内容 A(2)ア, イ B ア, イ, ウ 内容の取扱い(1)(2)(4)	20~25 ページ	
	3 草書	内容 A(2)ア, イ B ア, イ, ウ 内容の取扱い(1)(2)(4)	26~33 ページ	
	4 隸書	内容 A(2)ア, イ B ア, イ, ウ 内容の取扱い(1)(2)(4)	34~41 ページ	
	5 篆書	内容 A(2)ア, イ B ア, イ, ウ 内容の取扱い(1)(2)(4)	42~49 ページ	
	創作の手順 創作参考作品	内容 A(2)ア, ウ, エ B ア, イ, ウ 内容の取扱い(1)(2)(4)	50~55 ページ	

篆刻と刻字	1 篆刻	内容Bア, イ, ウ 内容の取扱い(3)	56~57 ページ	
	創作の手順 創作参考作品	内容A(2)イ, ウ, エ Bア, イ, ウ 内容の取扱い(3)	58~61 ページ	
	2 刻字 創作の手順 創作参考作品	内容A(2)イ, ウ, エ Bア, イ, ウ 内容の取扱い(3)	62~63 ページ	
	◎拓本の採り方	内容Bア, イ 内容の取扱い(3)	64 ページ	
仮名の書	1 仮名の美の展開	内容A(3)ア, イ Bア, イ, ウ 内容の取扱い(1)(2)(4)	66~73 ページ	
	2 連綿	内容A(3)ア, ウ, エ 内容の取扱い(1)(2)	74~75 ページ	
	3 仮名一覧表	内容A(3)イ, ウ 内容の取扱い(1)(2)	76~77 ページ	
	4 行書き・散らし書き	内容A(3)ア, イ, ウ, エ Bア, イ, ウ 内容の取扱い(1)(2)(4)	78~81 ページ	
	創作の手順 創作参考作品	内容A(3)ア, ウ, エ Bア, イ, ウ 内容の取扱い(1)(2)(4)	82~84 ページ	
漢字仮名交じりの書②	1 名筆・古典に学ぶ漢字と仮名の調和	内容A(1)ア, イ, ウ, エ Bア, イ, ウ 内容の取扱い(2)(4)	86~87 ページ	
	2 仮名に学ぶ漢字と仮名の調和	内容A(1)ア, イ, ウ, エ Bア, イ, ウ 内容の取扱い(2)(4)	88~89 ページ	
	3 隷書に学ぶ漢字と仮名の調和 <発展>	内容A(1)ア, イ, ウ, エ Bア, イ, ウ 内容の取扱い(4)	90~91 ページ	
	創作の手順 創作参考作品	内容A(1)ア, イ, ウ, エ Bア, イ, ウ 内容の取扱い(2)(4)	92~95 ページ	
資料	書の変遷	内容Bイ, ウ	96~99 ページ	
	◎書のさまざまな表現形式	内容Bア, イ	100 ページ	
	書道用語 200	内容Bイ, ウ	101~108 ページ	
	書道史略年表	内容Bイ, ウ	109~113 ページ	
	書道史地図	内容Bイ, ウ	裏見返し①②	

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
28-72	高等学校	芸術科	書道Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
2 東書	書Ⅱ305	書道Ⅱ		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
90～91	3 隷書に学ぶ漢字と仮名の 調和	1	4 内容の取扱い (2) 内容のAの指導に当たっては、(1) の漢字は楷書、行書及び草書、仮名 は平仮名及び片仮名、(2)は楷書、行 書、草書、隷書及び篆書、(3)は平仮 名、片仮名及び変体仮名を扱うもの とする。	2
合 計				2

〔「類型」欄の分類について〕

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容